

<大学等、賛同企業等による協働開発科目>

「初年次地域キャリアデザインワークショップ」
Carrier Design Workshop in Oita for Freshperson

<平成29年度実績からの授業改善>

授業過程

協働開発科目は単位互換をとおした大学等、学部・学科の枠を超えて学ぶために、大学等と賛同企業等が、初年次教育の重要性に着眼して開発した科目で、授業改善をモデル的に進めるものです。この科目を実施するにあたっては、協働する大学等に「協働開発科目の担当教員」を選任するとともに、企業等は若手社会人を授業の支援者として参加させて開講することとしています。

科目の開発に当たっては、連携校での「育成する人材像」の共有、「カリキュラム・ルーブリック」による評価、アクティブ・ラーニングの積極的な導入、ムードルを活用したe-ラーニング、学びを積み上げるポートフォリオなどの手法を駆使して実施します。

<主担当教員>大分大学：牧野治敏教授

<副担当教員>別府大学：西村靖史教授

<平成29年度作成>

大学等による「おおいた創生」推進協議会

<教育プログラム開発委員会・教育プログラム開発部会>

「初年次地域キャリアデザインワークショップ」の概要

【授業のねらい】

初年次学生を主な対象とする本授業では、「大学教育での学びのステップを自分自身で身につける」ことを目指しキャリアデザインができる能力を育成することをねらいとしています。また、その学びの中で「大分」を教材として、大分地域での就業意識を醸成することも目的です。

COC+に関わる大学のそれぞれの分野で学ぶ学生たちが、自らの将来を見据えて、地域の現状理解と地域で働く意義を学ぶことで、より安心して地域へ定着し、価値を生み出していける新しい地域社会の創造に貢献する人材となることを目指します。

【具体的な到達目標】

- ①多様な情報から、多様な人や文化、考え方を分析することができる。
- ②組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。
- ③グループ討議やプレゼンにおいて、自分の考えを他者に分かりやすく説明することができる。
- ④大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標や課題の分析に基づいて、大分で働くことについて自分の考えをグループ内で分かりやすく説明できる。
- ⑤自分の考えを基にして、他者と協調・協働して相互評価しながら、地域社会や企業が抱える課題に対応できる大学等での学び方を提案することができる。
- ⑥自分の生き方を構想し、自分自身が大学で学ぶ意義と価値を説明できる。

【授業の内容】

1. 大分県内で働くことに関する現状と働く意義について、必要と考えられる情報収集や積極的な議論を行うなどして、批判的思考を踏まえて自分の考えを説明できる能力を育成する。
2. 大分県で働くことに関する魅力と地域社会や企業が抱える目標や課題を知り、それに対応して活躍するために、地域の大学で学ぶ若者としてそれぞれの専門的な学びを生かして自分の考えを自由に構築する。さらに、その考えの共有や相互評価をとおして、地域社会や企業が抱える課題に対応するための大学での学びの価値について気づかせる。上記を達成するために、以下の①から⑮の授業を実施する。（①②・・・はコマ数、⑤コマ以降は合同授業）
 - ①各大学等で、授業の目的や内容、eラーニングでの動画視聴等についてのガイダンス。
 - ②～④eラーニングでの動画視聴により、大分で働く魅力、地域社会や企業が抱える目標や課題、大学等での学び方等を個人学習し、大分での就職を前提としたグループ協議の資料を収集する。
 - ⑤～⑧（1回目の合同学習）収集した各種情報から大分で就職することの魅力と就職への課題を整理し、大分に就職する意欲を醸成する資料作成や、就職への課題の克服方法をグループで協議して提案する。
 - ⑨～⑫（2回目の合同学習）若手社会人を交えたグループ討議や発表を行い、大分県で就職することや、そのための大学での学びのあり方を研究し、プレゼン資料を作成する。
 - ⑬～⑮（3回目の合同学習）若手社会人を交えたプレゼンテーションをとおして、大分県で就職することや、そのための大学での学びのあり方について意見交換を行う。

【学生がより深く学ぶための工夫】

・学修の経緯と省察を「学びの足跡」に記載する。グループ討議、社会人を交えるなどした様々な形態でのグループワーク、プレゼンテーション等の活動とその際の資料作成、個人レポート作成。

【成績評価の方法】

評価の観点①資料分析や授業中のグループ討議等での活動状況（収集分析資料、学びの足跡）

評価の観点②自分としての魅力や課題の指摘内容（他者評価、ミニレポート、学びの足跡）

評価の観点③班での課題解決のための提案内容（プレゼン資料、相互評価、学びの足跡）

評価の観点④自分にとっての学びの価値（最終レポート）

1. 事前学修の授業計画（各大学担当教員）（1コマ～4コマ）

コマ	メディア（働きかけ）	学生の活動 ※2コマ～4コマのレポートをワードで作成する ※< >は課題の番号	留意点・評価 *は評価対象 #はムードルへ記載
1 コマ 目	<p>①授業概要に関する2つのビデオ視聴する。 ※映像①平成29年度授業ビデオ ※映像②「授業概要の説明」</p> <p>②「授業過程」を使って授業の全体計画を説明する</p> <p>③「ムードル」の基本操作について説明する ※鈴木映像A：「操作方法手引き」</p> <p>④ビデオの見方を習得させ、ライティングの方法を説明する ※鈴木映像B：「ビデオの見方」 ※映像③～⑧「キャリアデザインの大切さ」等</p> <p>⑤掲示板の書き込み方法を説明する ※鈴木映像C：「掲示板書き込み」課題1をする。</p> <p>⑥2コマ～4コマの学修内容と記載内容<課題>を説明する</p> <p>⑦「学びの足跡」の事前アンケートを記入させる</p>	<p>①2つのビデオを視聴して、下記の点を「学びの足跡」に記載する。（P4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の趣旨 ・授業による具体的な目標と評価 ・授業の全体計画 ・留意事項等 <p>②「授業過程」をページを追って確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ協議のテーマと授業の流れを確認 ・授業のねらいや学習方法を確認 ・「学びの足跡」の使い方を確認 <p>③「ムードル」の操作方法を修得する。（P5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ログイン方法を習得 <p>④「キャリアデザインの大切さ」1本と「職場はあなたを求めています」4本、「これからの学習」1本の視聴の方法を確認する。（P5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で作動してみる ・ライティングの仕方を確認する <p>⑤掲示板への書き込み返信の方法を確認する。 <課題1>（P5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介（ムードルに記載して、学びの足跡に貼り付け） <p>※書き込みと返信の練習も兼ねる</p> <p>⑥2コマ～4コマの活動内容とムードルへの記載内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示があったページを記入する（P1～P3） <p>⑦「学びの足跡」の指定された事前アンケートを記入する。（P6～P8）</p>	<p>○学修テーマを確認する</p> <p>○③④は繰り返して確認する</p> <p>#</p> <p>○1回目の合同学習の中心資料となる</p>

2 コ マ 目	<p>①映像③を視聴する</p> <p>②課題2をする</p> <p>※鈴木映像D： 「レポート提出方 法」</p>	<p>＜自己学習＞</p> <p>①「キャリアデザインの大切さ」を視聴して以下の作業をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴しながら、説明内容をメモ欄にライティングし、再度視聴して、ライティング内容を確認して修正 <p>②＜課題2＞（P9）</p> <p>「キャリアデザインの大切さ」から学んだ自分なりの捉え方について<u>レポートA</u>を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートA (ムードルに記載して、ワードにコピーして印刷し、「学びの足跡」のP9に貼る) 	<p>○数回視聴して学びを深める</p> <p><u>※レポートA</u> ※300～400字</p>
3 コ マ 目	<p>①映像④～⑧を視聴する</p> <p>②課題3をする。</p> <p>③課題4をする。</p>	<p>＜自己学習＞</p> <p>①4本の「職場はあなたを求めています」を視聴して、1本ごとに以下の作業をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴しながら、説明内容をメモ欄にライティング ・ライティングしたものをレポート形式に整理(箇条書きではない) ・再度視聴して、ライティング内容を確認して修正 <p>②＜課題3＞（P10～P13）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職場はあなたを求めています」毎に、学んだ自分なりの捉え方を「学びの足跡」に記載 ・「学びの足跡」にライティング内容を記載 <p>※4本の全てを繰り返して行う</p> <p>③＜課題4＞（P14）</p> <p>※4本の「職場はあなたを求めています」から学んだ自分なりの捉え方について<u>レポートB</u>を作成する。</p> <p>(ムードルに記載して、その内容をワードにコピーして印刷し、「足跡」のP14に貼る)</p>	<p><u>※レポートB</u> ※300～400字</p>
4 コ マ 目	<p>①課題5をする。</p>	<p>＜自己学習＞</p> <p>①＜課題5＞（P14）</p> <p>※「キャリアデザインの大切さ」から学んだこと「職場はあなたを求めています」から学んだことから<u>レポートC</u>を作成する。</p> <p>(ムードルに記載して、その内容をワードにコピーして印刷し、「足跡」のP15に貼る)</p>	<p><u>※レポートC</u> ※300～400字</p>

②課題 6 をする。	②<課題 6> (P 1 5) ※ムードル上で他者のレポート A・B・C をそれぞれ 2 レポート程度ずつ読んで感想等をムードルに記載する。 ※コメントは 1 0 0 文字以下とする	# *									
③映像⑧を視聴する。	③「これからの学習」の映像をみて 1 回目の合同学習までの活動を確認する。	○次回までの準備を確認する。									
④課題 7 をする。	④<課題 7> (P 1 6) ・大分で働く(職業)の魅力と、大分で働く際の課題の両面から意見を言えるように、ビデオ「職場はあなたを待っています」を参考にしたり、それぞれの根拠資料の収集 ・下記の様式で A 4 の 1 枚以内で作成して P 1 6 に貼り、第 1 回合同学習へ持参 ・必要な根拠資料各 1 部を 1 回合同学習へ持参	○新聞、ネット等で集めて、自分なりの考えをまとめる。									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>大分で働く魅力(職業選択)</th> <th>大分に就職する際の課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分の考え</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>根拠資料名 ※当日 1 部持参</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				大分で働く魅力(職業選択)	大分に就職する際の課題	自分の考え			根拠資料名 ※当日 1 部持参		
	大分で働く魅力(職業選択)	大分に就職する際の課題									
自分の考え											
根拠資料名 ※当日 1 部持参											

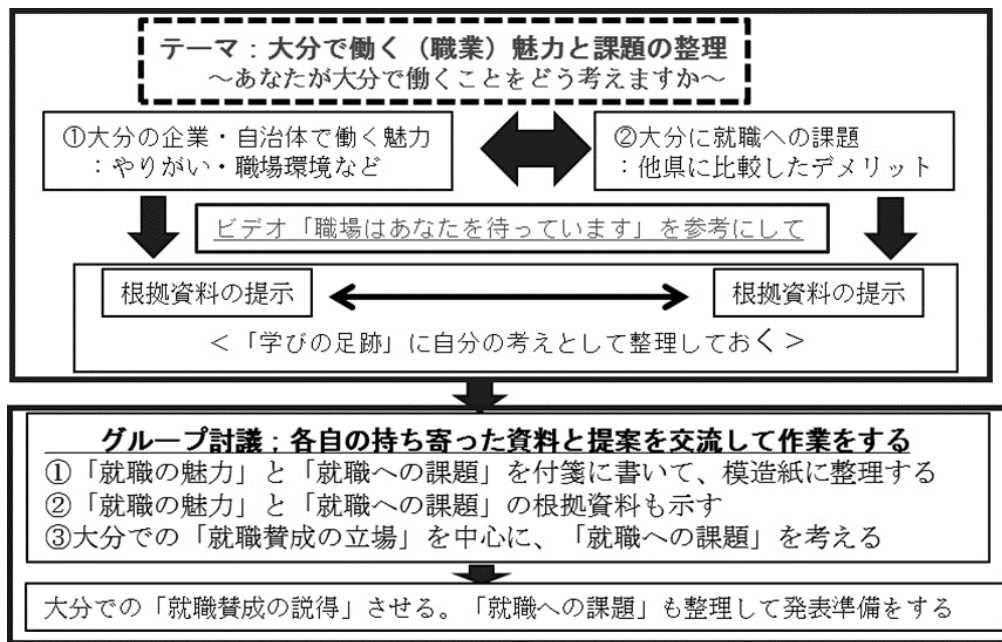
2. 合同学習の授業計画

(1) グループ討議と発表<大分に就職する魅力とその課題の克服方法を考える> (5コマ～8コマ)

<合同1日目>

コマ	メディア (働きかけ)	学生の活動	留意点・評価
5 ・ 6 コマ 目	①アイスブレイキング ・自己紹介・グループ づくり	①アイスブレイキング・自己紹介とグループ作 りをする。(P17) ・ひとりずつの自己紹介 ※事前に大学が異なるようにグループを作る。 (分け方は参加者を見て要検討)	○グループを作った ら、意見を自由に出せ る雰囲気を作る。
	②授業のねらいの確認	②テーマと学修の流れの確認をする。(P17) ・自分自身が大分で就職することを前提とし、 大分で働く魅力と、大分で働く際の課題を 検討する。<下図①参照>	
	③グループ協議のテー マの確認	③テーマの確認の情報交換をする。(P18) ・各自が作成・持参した資料を基にして意見交 換	○グループ協議の方 法を徹底する。
	④協議手順の確認	④<課題8>グループ討議1回目 (P19・20) 大分で働く(職業)の魅力と、大分で働く際 の課題の両面からKJ法で模造紙に整理す る。 ・グループ毎の見出し付け ・グループの考えをまとめて、提案するた めの論点を整理 ・発表の資料をグループで作成	○大分で働く魅力と、 地域社会や企業が抱 える目標・課題、大学 等での学び方につい てグループ内で意見 交換し、整理する。

図①



	①グループ発表	①グループ提案 1 回目<下図②参照> (P 2 1 ・ P 2 2) ・大分で働く (職業) の魅力を提案 ・大分で働く際の課題の整理 <全体討議の内容> (P 2 2) ※不足するデータ、考え方を指摘する →大分に就職する課題克服について整理する	
7 ・ 8 コ マ 目	<p>図②</p> <p style="text-align: center;"> テーマ：大分に就職する魅力とその課題の克服方法を考える ☆大分での「就職賛成」を説得することを目的として発表する </p> <p style="text-align: center;"> ~各班が順番に、模造紙を使って班の考えを発表する~ ①就職賛成を説得することを目的に「就職への課題」を含めて発表する ②発表グループの意見を「就職への課題」の立場から追及する </p> <p style="text-align: center;"> ~各班の発表と追及~ <各班の発表について、他の班からの質問と意見 (班ごとに順番に行う) > </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 「就職賛成の理由」 根拠を含めて「就職賛成」へ賛同意見を付加する </div> <div style="text-align: center;"> 「就職への課題」 課題への対応について視点を明確にして指摘する </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 全体討議での意見を基にして大分に就職する魅力と課題克服について整理する </p>		
	②全体討議を受けての最終整理 ③最終提案の確認	②グループ討議 2 回目 (P 2 3) ※発表資料の修正・追加 ・大分で働く (職業) の魅力を確認 ・大分で働く際の課題への対応について視点を明確化と克服策 ③<課題 9 >最終発表準備 (P 2 4) ※以下の 2 点について、翌日の発表で説得できるか。 ・大分で働く (職業) の魅力 ・大分で働く際の課題への対応について視点の明確化と克服策 ※ 2 時間程度の時間外学習 (発表資料作成)	* ○発表準備はグループ毎に行い、課外学習として仕上げる。 ※終了：18：50

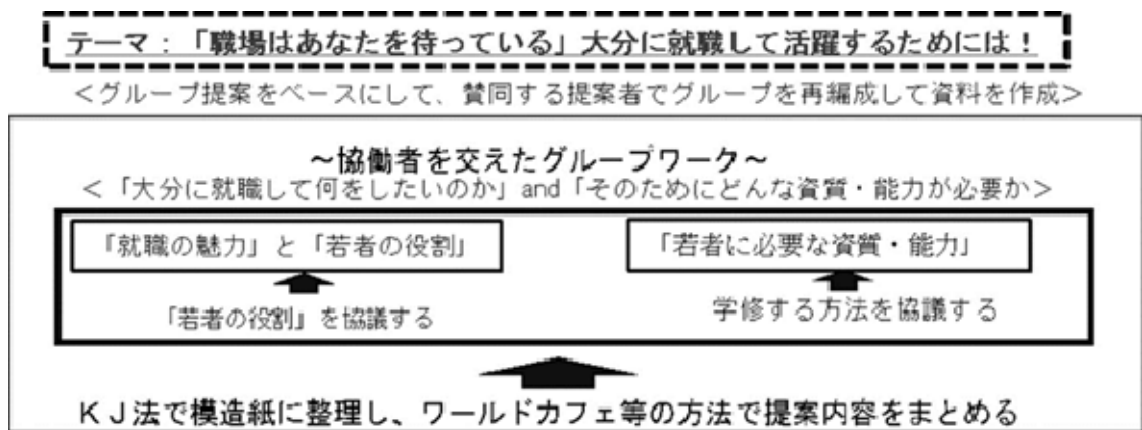
<合同 2 日目>

9 コ マ 目	①グループ毎に発表 ②後半のグループ編成	①グループ提案 2 回目 (1 5 分) ※協働者 (社会人) を交えた大分県での就職の魅力と課題を再度協議 (P 2 5) ・協働者からのアドバイス ※「自分は納得できるか」の視点で全員が評価 ②自分の考えに合った発表のグループ編成	* ○大分県で就職することについて、自分の問題として協議・評価する。
------------------	-----------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

(2) グループ討議と発表<大分に就職して活躍するためには!> (10コマ~12コマ)

コマ	メディア (働きかけ)	学生の活動	留意点・評価
10 11 コマ 目	①グループ作りをする。 ②大学生の皆さんはどのようなところで活躍する可能性を持っていますか?互いに、どのようなところで活躍できるか考えてみましょう。 ③協議するテーマを確認する。 ④課題10をする。	①協働者を交えてグループ作りをする。 <下図3参照> ・グループ数は、協働者を1名毎にしたグループ数(4程度)で学生を配分(P26) ・学生は出来るだけ異なる大学からの参加者となるよう事前に調整しておく ・グループ毎の自己紹介(10分) ※人数・役割は履修登録確定後に調整 ②協働者を交えたグループ協議をする。 ※協働者を交えて「大分に就職して活躍するためには」をテーマに意見交換する(P26) ・大分に就職する魅力の協議 ・大学生たちが活躍する卒業後の姿 ・大分に就職する際の必要な資質・能力 ・大分に就職する際の課題→課題克服方法 ③協働者を交えて考え方を整理する。 ※KJ法で模造紙に提案内容をまとめる。 ※グループで以下の内容について1人10個程度のアイデア出しを行っていく。(P27) ・大分での就職の魅力 ・就職する際の課題とその克服策について ・出された付箋を模造紙上で整理していく ④ワールドカフェで提案内容を整理する。 ・第1ラウンド(20分)~全グループへ ・終了後に、「足跡」のP27に記入する <課題10>P28の6に記入する。	<方法> ・ワールドカフェ ・「学びの足跡」 <内容> ・傾聴 ・自分事思考 ・プレゼン資料 ・修正資料 ・相互評価 <内容> ・班の考え ・全体の説得力 ・提案の質 ○活躍できる職域などを広げることで、自分たちの学びがつながる社会への視点を広げていくよう留意する。 <方法> ・ブレインストーミング ・「学びの足跡」 <準備> ・模造紙 ・付箋紙(4色程度) ・サインペン

図③



(3) 最終発表プレゼン準備

コマ	メディア (働きかけ)	学生の活動	留意点・評価
12 コマ 目	①大分での就職と学びのシステムをプレゼンする準備をする。 ②プレゼンを作る。	①<課題11> (P29) ※大分での就職の魅力と就職の際の課題と克服策を整理し、学生チームごとに自分事とした観点より、解決策としての大学での学びについて各班10分間の報告を行う準備をする。 ②今日の学びを整理し、チームの発表の骨格を整理する。 (1) キャリアデザインに対する考え方・理解 (2) 大分県における職業の現状分析 ・大分に就職する魅力と課題 (3) 大分地域で活躍し、地域を活性化することに必要な、大学における自身の学び	<方法> ・協働学習 ・「学びの足跡」 <内容> ・役割分担 ・学びの足跡 <準備> ノート PC PowerPoint Prezi LINE

(4) 研究成果発表 (13コマ~14コマ)

<合同3日目>

コマ	メディア (働きかけ)	学生の活動	留意点・評価
13 ・ 14 コマ 目	①大分での就職の魅力、課題への克服策と学びのプレゼンをする準備を行う。 ②最終プレゼンテーションをする。	①協働者を交えてプレゼン最終修正をする。 ※12回に引き続き、大分での就職の魅力と就職の際の課題と克服策のプレゼンを完成 ※主にプレゼン内容の確認と、報告の練習を行う時間とする。(P31) ※プレゼンテーションの確認と発表の練習 (1) キャリアデザインに対する考え方・理解 (2) 大分県における職業の現状分析 ・大分に就職する魅力と課題 (3) 大分地域で活躍し、地域を活性化することに必要な、大学における自身の学び ・各班でプレゼン原稿の確認、資料の確認と、報告のリハーサル ②最終プレゼン発表と全体協議をする。 ※発表のポイントを押さえて説得できるかを考慮して提案する。(P32~P35) ・補充の観点と批判的観点からの意見交換 ・参加者による各発表の評価 ・指導者の批評 ※各班プレゼンテーション: 10分以内 ・協働者からのコメント ・「学びの足跡」の振り返りを記入 (P36)	<方法> ・協働学習 ・「学びの足跡」 <内容> ・役割分担 ・学びの足跡 <準備> ノート PC PowerPoint Prezi LINE ストップウォッチ # * <評価の観点> ①ポイントを押さえているか ②説得力があるか ③大学での学びが分かるか ④自分のこととしているか

※振り返り（15コマ）

コマ	メディア（働きかけ）	学生の活動	留意点・評価
15 コマ 目	①プレゼンテーションから班の振り返りをする。 ②各自の授業の振り返りをする。	①グループで、プレゼンに対する意見や質問からの振り返りをする。（P37） ・大分での就職の魅力 ・就職の際の課題と克服策 ・大学での学び ②「学びの足跡」の「授業の振り返り」に記入する。（P38～P41） ・「事後記述」の記入 ・「授業評価」の記入 ③参加教員からコメントをする。 ④最終評価レポート作成の説明を行う。 ＜課題12＞：最終レポート （ムードルに記載して、その内容をワードにコピーして印刷し、プリントして貼る） （P42）	<方法> ・協働学習 ・「学びの足跡」 #* ○提出期日を厳守させる。

<最終レポート>

1. テーマ「大分県で活躍するための大学での学び」

本授業を振り返り、あなたが大分県で活躍するための大学での学びについて自分の考えをまとめてみましょう。

2. レポートの様式

- ・レポートはWordを用いて作成してください。
- ・書式は、40文字×30行の設定として、書体は明朝体10.5ptを使用してください。
- ・ヘッダに右揃えで1行目は大学名、2行目にこの授業の受講者番号、氏名を記入してください。
- ・1ページ目の初めの行にはタイトルを入れて、センタリング（中央揃え）してください。
- ・2行目は改行し、本文とは1行空けてください。
- ・3行目から本文を書き始め、文字数は全体で2000文字（2枚）以内にまとめて作成してください。
- ・複数ページにわたる場合は、フッタ中央にページ番号を振ってください。
- ・文体は「である」調としてください。

3. レポートに記述する必要がある内容（レポート構成）

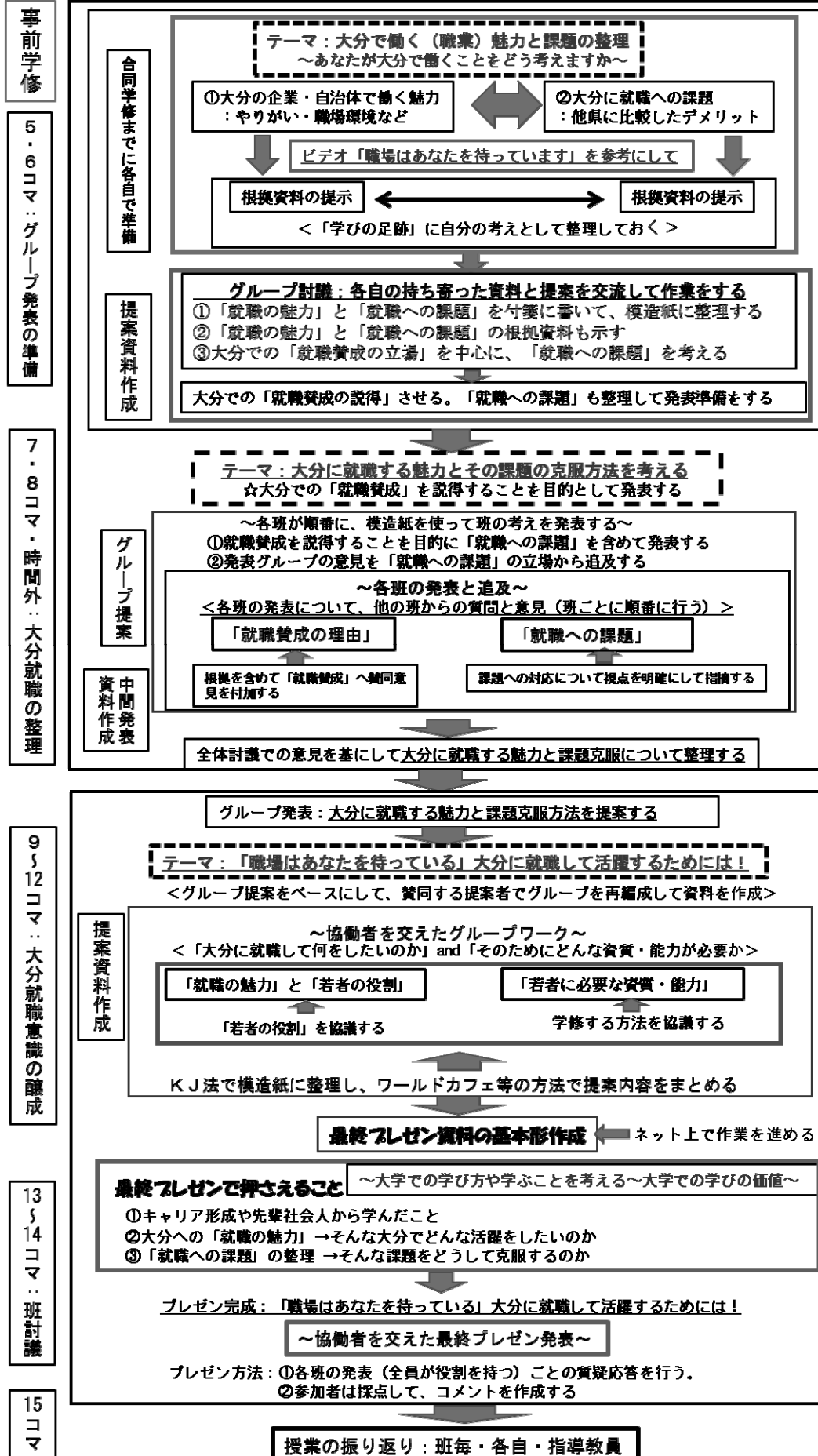
大分県で活躍するための大学での学びについて、以下の点を中心にして記述してください。

- ①キャリア・デザインに対する考え方・理解
- ②大分県における現状分析（ディベート資料や社会人との対話など）
- ③地域で活躍し、地域を活性化することに必要な、大学における自身の学び
- ④自分自身のこれからの学びの姿勢

4. 最終レポートの提出方法

- ①提出期限：
- ②「初年次地域キャリアデザインワークショップ」の授業のムードルに掲載する。

「初年次地域キャリアワークショップ」のグループ協議のテーマと授業の流れ



「初年次地域キャリアデザインワークショップ」の教師による評価表(評点・評価に○)

大学名/氏名			評価対象	評点	備考
番号	コマ	足跡頁			
1	2	9	「キャリアデザインの大切さ」ライティングの内容	54321	
2	2	9	「キャリアデザインの大切さ」から学んだ自分なりの捉え方についてレポートA	54321	
3	3	14	4本の「職場はあなたを求めています」から学んだ自分なりの捉え方についてレポートB	54321	
4	4	15	「キャリアデザインの大切さ」から学んだこと、「職場はあなたを求めています」から学んだことからレポートC	54321	
5	4	15	レポートA・B・Cへのコメント	54321	
6	8	☆23~	ディベートへの参加状況	54321	
7	9	☆25	グループ発表	54321	
8	10	☆26~	ワールドカフェへの参加状況	54321	
9	14	☆35	プレゼンテーション	54321	
10	全体		グループ討議への参加状況	54321	
11	全体		「学びの足跡」への記載状況	54321	
12	15後	45	最終レポート	54321	
13	全体	☆44	教員・ステークホルダーによるカリキュラム・ルーブリック評価「学びの達成度」	ルーブリック表	

平成29年度受講生の受講前と受講後の変化

「初年次地域キャリアデザインワークショップ」の自己評価表(事前・事後比較表)評価値:4~1

自分の認識: 「自分のこと」「働くこと」について、どのように感じていますか？	事前	事後	差
1 自分の好きなこと・嫌いなことがわかっている	2.93	3.33	0.4
2 自分の興味・関心があるものが見つかっている	3.07	3.33	0.26
3 自分の得意なこと・苦手なことがわかっている	3.27	3.4	0.13
4 自分の大切にしたい価値観がわかっている	3	3.47	0.47
5 自分は何のために働くのかがわかっている	3.07	3.27	0.2
6 自分がどのように社会に参画したいかわかっている	2.73	3.13	0.4
7 社会に様々な個性を持った人がいることがわかっている	3.53	3.64	0.11
8 様々な職業・企業について知る必要性がわかっている	3.4	3.67	0.27
9 いま住んでいる地域がどのような課題を抱えているかわかっている	2.27	3.27	1
10 いま住んでいる地域の産業について理解している	2.07	2.8	0.73
11 社会に出てから求められる力がわかっている	2.87	3.53	0.66
12 社会に出てから求められる力と大学での学びの関係性がわかっている	2.87	3.53	0.66
	2.92	3.36	0.44

自分の認識: 「自分のこと」「働くこと」について、どのように感じていますか？	事前	事後	差
1 自分の好きなこと・嫌いなことがわかっている	2.93	3.33	0.4
2 自分の興味・関心があるものが見つかっている	3.07	3.33	0.26
3 自分の得意なこと・苦手なことがわかっている	3.27	3.4	0.13
4 自分の大切にしたい価値観がわかっている	3	3.47	0.47
5 自分は何のために働くのかがわかっている	3.07	3.27	0.2
6 自分がどのように社会に参画したいかわかっている	2.73	3.13	0.4
7 社会に様々な個性を持った人がいることがわかっている	3.53	3.64	0.11
8 様々な職業・企業について知る必要性がわかっている	3.4	3.67	0.27
9 いま住んでいる地域がどのような課題を抱えているかわかっている	2.27	3.27	1
10 いま住んでいる地域の産業について理解している	2.07	2.8	0.73
11 社会に出てから求められる力がわかっている	2.87	3.53	0.66
12 社会に出てから求められる力と大学での学びの関係性がわかっている	2.87	3.53	0.66
	2.92	3.36	0.44

行動力: 以下の行動について、いまの自分にいちばん近いものに○をしてください。	事前	事後	差
1 人の生き方に関心を持ち比較しながら、自分の生き方を描こうとしている	3	3.47	0.47
2 大学での学びや経験を将来の自分と関連づけて考えている	3.27	3.6	0.33
3 「ありたい自分」の実現と進路選択と関連づけて考えている	3.07	3.47	0.4
4 自分の生き方をイメージできるモデル(人物)を見つけている	2.2	2.47	0.27
5 ありのままの自分をみつめようとしている	2.87	3.27	0.4
6 自分のやりたいことや、将来のありたい自分をイメージしている	3.13	3.6	0.47
7 「ありたい自分」の実現のために行動し、挑戦しつづけている	2.67	3	0.33
8 「ありたい自分」の実現のために困難なことも克服しようと努力している	3.07	3.27	0.2
9 社会に対して価値を提供し続けるために成長し続けようとしている	2.93	3.4	0.47
10 自分の知らない社会に対して関心をもち視野を広げようとしている	3.2	3.53	0.33
11 社会に参画・貢献する様々な方法を探そうとしている	3.33	3.6	0.27
12 自分がどのように社会参画・貢献できるのかを探そうとしている	3.27	3.6	0.33
13 地域・国際社会の価値や課題に関心を持っている	2.93	3.47	0.54
14 自分が関わりたい分野や課題がどのようなものかを学んでいる	3.27	3.53	0.26
15 地域・国際社会の価値や課題に関心を持っている	3	3.4	0.4
16 自分が関わりたい分野や課題がどのようなものかを学んでいる	3.27	3.53	0.26
17 地域社会・国際社会の価値や課題に自ら関わろうとしている	2.47	3	0.53
18 地域社会・国際社会に貢献できるよう、参画しようと行動している	2.83	3.07	0.74
19 地域・国際社会のなかで、自らの役割を果たすことで参画・貢献しようとしている	2.53	3.07	0.54
	2.94	3.33	0.39

社会人基礎力：下記のような行動がどれくらいできていると感じていますか？	事前	事後	差
1 自分がやるべきことは何かを見極めて自発的に取り組んでいる	2.93	3.2	0.27
2 困難なことでも自信を持って取り組んでいる	2.2	2.67	0.47
3 自分なりに判断し、他者に流されず行動している	2.4	3	0.6
4 相手を納得させるために、協力することの必然性を伝えている	2.93	3	0.07
5 状況に応じて効果的に他者を巻き込むための手段を活用する	2.6	3.07	0.47
6 目標達成に向けて粘り強く取り組み続ける	3.07	3.47	0.4
7 失敗を恐れずにとにかくやってみる	2.27	3.13	0.86
8 困難な状況から逃げずに取り組み続ける	2.47	3.2	0.73
9 成果のイメージを明確にして、実現のためにすべきことを把握する	2.67	3.2	0.53
10 現状を正しく認識するための情報収集や分析をする	3	3.6	0.6
11 課題をあきらかにするために、他者の意見を積極的に求める	2.93	3.2	0.27
12 作業のプロセスをあきらかにして優先順位をつけ、計画を立てる	2.93	3.13	0.2
13 計画と進捗状況の違いに留意する	2.77	3	0.23
14 不測の事態にあわせて柔軟に計画を修正する	2.87	3	0.13
15 複数のもの（もの、考え方、技術等）を組み合わせ、新しいものを作る	2.27	3.13	0.86
16 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出す	2.2	2.87	0.67
17 成功イメージを常に意識しながら新しいものを生み出すためのヒントを探す	2.53	3.13	0.6
18 事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える	2.67	3.27	0.6
19 聞き手がどのような情報を求めているかを理解して伝える	2.67	3.13	0.46
20 話そうとすることを自分なりに十分に理解して伝える	2.86	3.33	0.47
21 内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する	3.07	3.33	0.26
22 あいづちや共感等により、相手に話しやすい状況を作る	3.27	3.47	0.2
23 相手の話を素直に聞く	3.6	3.79	0.19
24 自分の意見もちながら、他人の良い意見も共感を持って受け入れる	3.4	3.53	0.13
25 相手がなぜそのように考えるのか、相手の気持ちになって理解する	3.2	3.47	0.27
26 立場の異なる相手の背景や事情を理解する	3	3.53	0.53
27 周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する	3	3.27	0.27
28 自分にできること・他人ができることを判断して行動する	3	3.6	0.6
29 周囲の人の状況（人間関係、忙しさなど）に配慮して、良い方向に向かうように行動する	3.14	3.4	0.26
30 相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければいけないルールや約束・マナーを理解している	3.43	3.8	0.37
31 相手に迷惑をかけたとき、適切な行動を取ることができる	3.2	3.53	0.33
32 規律や礼儀が特に求められる場面で、粗相のないように正しくふるまう	3.13	3.4	0.27
33 ストレスの原因を見つけて、取り除くことができる	2.27	2.47	0.2
34 他人に相談したり、別のことに取り組んだりすることでストレスを一時的に緩和させる	2.8	3.2	0.4
35 ストレスを感じることは一過性、または当然のことと考え、重く受け止めすぎないようにする	2.73	3.07	0.34
	2.84	3.26	0.42

平成29年度 ステークホルダーからの感想（4名）

1. 入学1・2年生という時期の学生を指導しての感想をお願いします。

- 他の同学年に比べて、就職に関する意識が高かったです。ただ、キャリアデザインの根底には、仕事のやりがいやスキルアップではなく、プライベート重視を感じた所が惜しかった所だと感じます。各学生が多様で具体的な夢や目標を立てて熱く語れるキャリアデザインを立てる事が出来れば、様々な意見、話し合いから良いアイデアが生まれ一段階ランクアップしたキャリアデザインが生まれて刺激的な授業になると感じました。
- 自身の就職について考えることも、沢山の人の前で発表する事も少なかったとは思っています。自分たちなりに考えて、県のホームページ等、沢山の資料を参考にしながら発表されて、とても凄いなと感じました。又、自分とは違う考え方を持っている人と話し合うことで視野も広がっていると感じました。
- 意見を聞き入れることのできる素直さ・真摯さと知識などの吸収力が備わっている学生が多いことに感銘を受けました。特に、他者からの意見を聞き入れて自らの考え方を変えていくことのできる能力はこれからの学生生活で活かされていくのではないかと思います。
- 学生ごとに、論理的に道筋を立てて考えていく力や、視点の転換（マクロ⇄ミクロとか、他者の視点の内面化とか）の能力のバラつきがあるようで、グループワークを進めるにあたっては丁寧な指導や良いファシリテーターの存在が必要であると感じました。論理的な考えや資料の作成方法などは、まだ改善の余地がありましたが、大学に入学して間もないころに、このように「大学で何を学ぶべきか」「自分の人生をどのように計画していくか」を考えることは非常に有意義だったと感じます。

2. 事業内容についての改善等についてのご意見をお願いします。

- もっと学生とフリーで話す時間が欲しかったです。大分で働くイメージ、どういう職種がいいのか、これから伸びていく産業はどれか、休日の過ごし方、今後の目標。沢山話せることはありましたので、そこが残念でした。
- 今後この科目を履修される学生が事前に把握できるのであれば、その学生の働きたい、働いてみたい職種の社会人も一緒に参加できると更に働くことへの興味等、出てくるのではないかと思います。
- ステークホルダーと学生との議論・グループワークの時間がもっとあってもいいと感じました。学生とステークホルダーの個々のキャリアに対する考え方や実際に働くというのはどういうことかとか、ステークホルダー個々の専門性はこういったところかといったところをより詳しく話ができると良いと思われれます。今後の展望として、キャリアを考えるということに終わりはないと思うため、大学1,2年生向けの講義を重ねつつも3,4年生向けの講義も別途用意したほうが良いと思われれます。
- 幅広い考え・経歴の社会人からの意見を聞くことに意義があると思うので、そのような観点から社会人の選定が出来ると良いのかと思いました。また学生と社会人がもっと話す時間や共同でワークするような時間があっても面白いのではと思います。